

# 第1回 追浜駅交通結節点事業計画検討会 議事概要

■日時 令和2年9月10日(木) 10:00~12:00

■場所 横須賀市役所 消防庁舎4階 災害対策本部  
(一部委員は、テレビ会議にて参加)

## ■出席者

【座長】東京大学大学院 教授	羽藤 英二
【委員】横浜国立大学大学院 准教授	野原 卓
中央大学研究開発機構 准教授	稲垣 具志
東京理科大学 講師	柳沼 秀樹
京浜急行電鉄(株) 執行役員 鉄道本部 鉄道統括部長	櫻井 和秀
京浜急行電鉄(株) 生活事業創造本部 開発統括部長	島 由紀子
京浜急行バス(株) 運輸部 常務取締役 運輸部長	清野 尚
神奈川県タクシー協会 横須賀支部 支部長	市川 壽一
日産自動車(株) 渉外部 担当部長	永澤 実
日産自動車(株) 追浜工場 人事総務部長	市川 卓真 (代理:黒須 隆)
(株)横浜DeNAベイスターズ 事業本部 ホールパークオペレーション担当	箕輪 忠行
神奈川県 田浦警察署長	原 一夫 (代理:廣山 茂)
神奈川県 県土整備局 都市部長	関矢 博己
神奈川県 県土整備局 道路部長	大島 伸生 (代理:山田 直也)
横須賀市 副市長	田中 茂
横須賀市 まちづくり政策担当部長	羽布津 仲雄
国土交通省 関東地方整備局 道路部長	高松 諭
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所長	鈴木 祥弘

(※順不同、敬称略)

【事務局】横須賀市 経営企画部 まちづくり政策課  
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査課

## ■議事

- ・規約は規約(案)のとおり了承
- ・座長は互選により「東京大学大学院教授の羽藤英二委員」に選出
- ・「検討会設置について」、「追浜駅周辺の現状・課題」、「交通結節点整備の事例」、「駅まち空間としての交通結節点」、「検討の方向性・コンセプト」、「検討の進め方」について、事務局より説明され、引き続き具体的内容を議論し、調整していくことを確認。

<委員からの主な意見>

- ・追浜駅前には交通需要の割りにスペースが少ないという典型的な問題があり、どのように機能や施設を配置していくかが重要である。
- ・限られた空間の中で機能を分担し、新たな機能を付加していくことを考えると、地域の中で機能・役割のトレードオフが発生することから、地域の相互理解が非常に重要になってくる。
- ・事業の計画段階から、多様な利用者の意見を取り入れることが重要であり、特に移動に配慮が必要な高齢者、障害者等の当事者参加について、意識的に向き合うことによって、ユニバーサルな環境の構築が期待できる。
- ・各交通手段の駅前空間の利用割合とそれぞれが実際に輸送している人数、つまり現況の交通手段別総処理人数を調べた上で、特定の交通手段ユーザーが不公平を被らないように、見ていくべきではないか。
- ・限られた空間をいかにシェアしていくかを考えると、一つの空間を時間帯や平日休日によって使い分けていくような観点もあるのではないか。
- ・湾岸部からの交通流入を考慮した拡幅や適切な車線数の確保について関係者で検討をして頂きたい。
- ・行動変容をもたらすため、ハード整備に先行して取り組める MaaS のようなソフト面の施策も検討してもよいのではないか。
- ・交通機能を集約し便利にするだけでなく、付加価値の高いまち・駅とするべきではないか。
- ・横須賀スタジアム、DOCK OF BAYSTARS の玄関口になる駅であることを考えると、1 日あたり千人の観客が利用する。あらゆる交通モードで移動できることが必要ではないか。
- ・自動運転車の走行を考慮したハード整備も考える必要があるのではないか。
- ・災害時の EV 車両の活用等も議論しては良いのではないか。

以 上